トステム株式会社

カーブテラスⅡ〈入隅仕様〉 取付け説明書

MAF-684A
7-0102

●お願い…入隅以外の組立て・取付け及び施工上のご注意・製品の取扱いについては、カーブテラスⅡ本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

■作業手順

1 柱位置出し・基礎穴掘り
→ 垂木がけの切断・加工

2 垂木がけの取付け
→ 棟木の切断・加工(出幅3尺・5尺)

3 棟木への部品取付け

4 柱の取付け

5 棟木と垂木がけの接続
1500形の場合 → けたの切断・加工

600形の場合
6 けたの取付け
→ 前枠の切断・加工

6 7 前枠の取付け
→ 垂木・野縁の切断・加工

7 8 垂木・野縁の取付け

8 9 前枠雨樋部のシーリング
→ 屋根パネルの切断
棟木カバーの切断・加工(出幅3尺・5尺)

9 10 屋根パネル・棟木カバーの取付け

■部材の加工寸法

●専用部材寸法

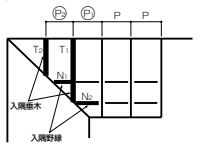
出幅(D)	入隅棟木(ℓ) A型	入隅棟木(ℓ) B型	入隅棟木カバー(ℓ) A型	入隅棟木カバー(ℓ) B型
3尺(885)		1254		1355.5
4尺(1185)		1681.5		1783
5尺(1485)	2255.5	2109	2339	2210.5
6尺(1785)	2683	2536.5	2766.5	2638.1

※出幅4尺と6尺が規格サイズです。
3尺・5尺用の場合は、表に基づき切り詰めてください。
〔参考〕切詰め寸法公式
$=(D-D_1)\times 1.425$
D：規格　D_1：取付け時

●入り隅部垂木・野縁寸法表

出幅	垂木 T_1	垂木 T_2	屋根材カバー T_1	屋根材カバー T_2	野縁 N_1	野縁 N_2 ※
3尺	220.5	—	326.5	—	—	601
4尺	525.5	—	631.5	—	684.5	—
5尺	830	—	936	—	224.5	561
6尺	1134.5	363	1240.5	469	327.5	664

※1)N2は、1500形のみ必要
〔参考〕T_2垂木(ℓ)＝｛(D+230.5)−(Ⓟ1+Ⓟ2)｝×1.015−140.3
T_2屋根材カバー(ℓ)＝T_2垂木＋106
T_1垂木(ℓ)＝｛(D+230.5)−Ⓟ1｝×1.015−140.3
T_1屋根材カバー(ℓ)＝T_1垂木＋106



●各部材寸法算出公式・寸法表
・前枠＝(P×S)＋20
・けた＝P×S
・垂木掛け＝(P×S)＋D＋205.5

出幅(D)	D	S 1間	S 1.5間	S 2間	S 2.5間
3尺	885	1	2	3	5
4尺	1185	1	2	3	5
5尺	1485	—	1	2	4
6尺	1785	—	1	2	4

タイプ	P	Ⓟ1	Ⓟ2(6尺のみ)
関東間	760	760	760
関西間	820		
九州四国間			

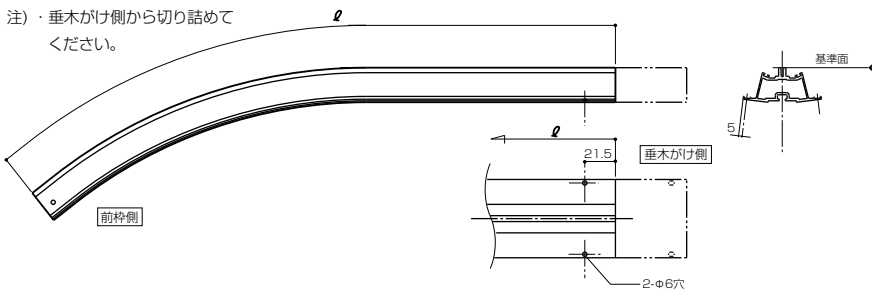
■部材の加工・取付け上のお願い

①屋根部材の加工方法は、垂木ピッチ本位で算出するものです。すなわち、垂木ピッチが通常より狭くなる場合はすべて切り詰めます。そのため、タイプによっては切詰め長さが長くなる場合もあります。
(入隅部分以外での屋根パネルの切断はありません。)
②現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
③垂木がけの垂木取付け穴は下図姿図に従って、右図加工図上の▲印の位置に加工してください。
④1間×5尺・1間×6尺は製作不可です。
⑤入隅部垂木ピッチP1・P2は、関東間ピッチ(P=760)にしてください。
また、屋根パネルは関東間用を使用してください。
⑥間口2.5間ベースで組み立てる場合、及び1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

■部材の加工

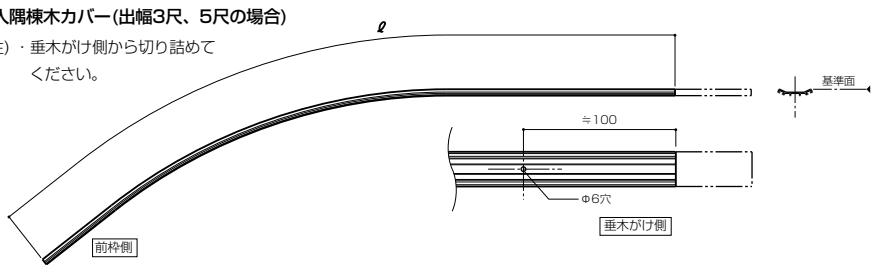
●入隅棟木(出幅3尺、5尺の場合)

注）・垂木がけ側から切り詰めてください。

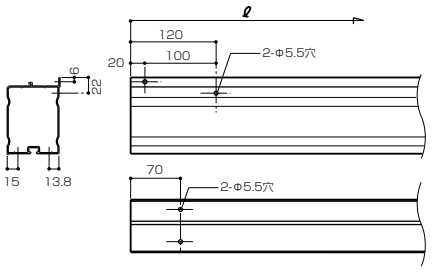


●入隅棟木カバー(出幅3尺、5尺の場合)

注）・垂木がけ側から切り詰めてください。

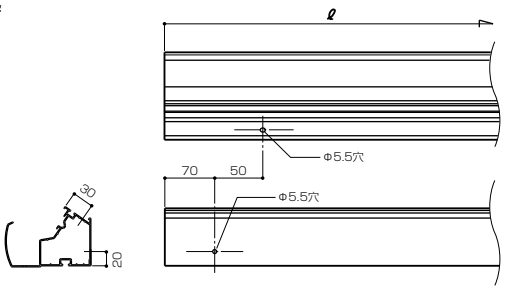


●けた



注）勝手違いは、逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

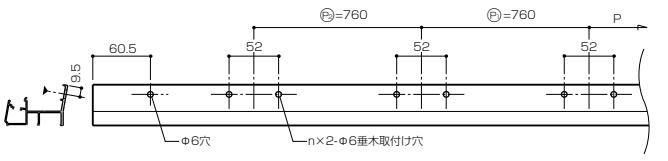
●前枠



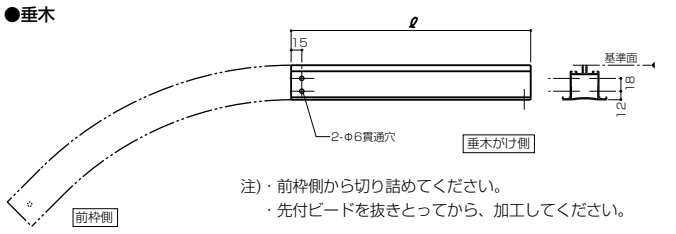
注）勝手違いは、逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。

●垂木掛け

注）・勝手違いは逆端部を加工してください。
・入隅部の垂木ピッチⓅ1,Ⓟ2は、関連間ピッチ(760)ですので、関西間、九州四国間は加工しなおしてください。

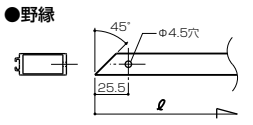


●垂木



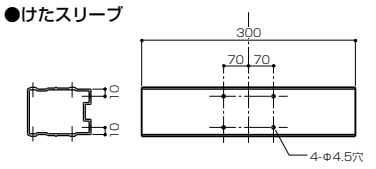
注）・前枠側から切り詰めてください。
・先付ビードを抜きとってから、加工してください。

●野縁

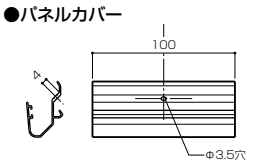


注)勝手違いは対照加工してください。

●けたスリーブ

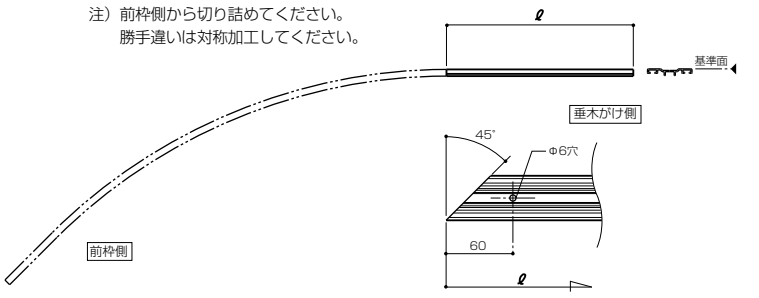


●パネルカバー

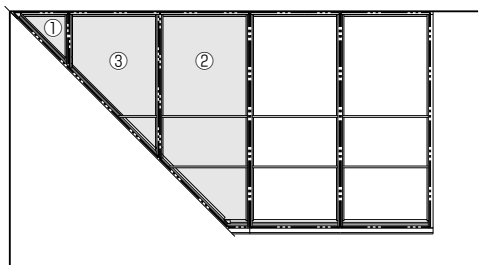


●屋根材カバー

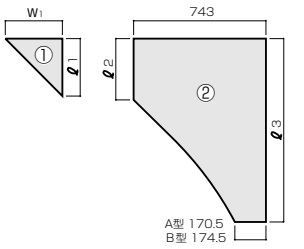
注）前枠側から切り詰めてください。
勝手違いは対称加工してください。



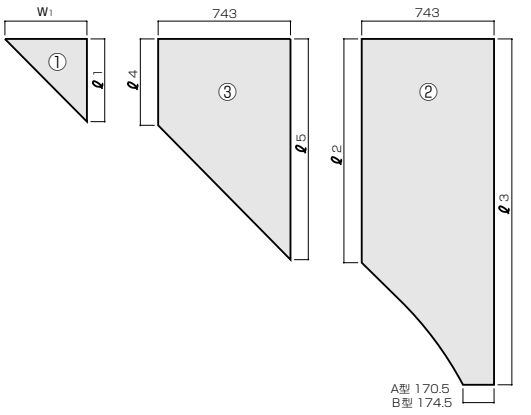
●屋根パネル寸法



3、4、5尺



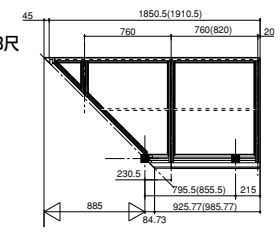
6尺



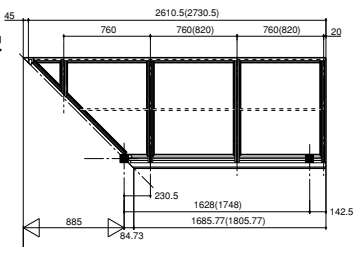
	3尺 W1	3尺 ℓ1	3尺 ℓ2	3尺 ℓ3	4尺 W1	4尺 ℓ1	4尺 ℓ2	4尺 ℓ3	5尺 W1	5尺 ℓ1	5尺 ℓ2	5尺 ℓ3	6尺 W1	6尺 ℓ1	6尺 ℓ2	6尺 ℓ3	6尺 ℓ4	6尺 ℓ5
A型	—	—	—	—	—	—	—	—	920.5	934.5	953	1772.5	460.5	467.5	1257.5	2077	485	1239.5
B型	320.5	325.5	344	1029.5	620.5	630	648.5	1334			952	1637.5			1256.5	1942		

■姿図

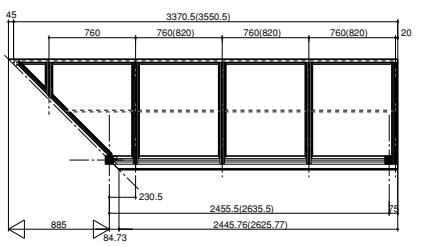
●1.0間×3尺



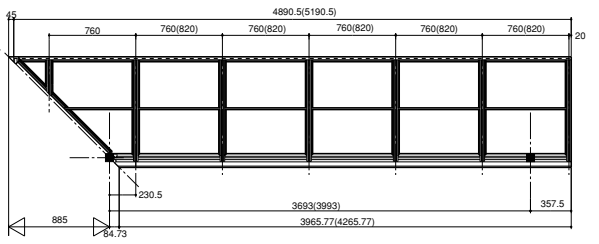
●1.5間×3尺



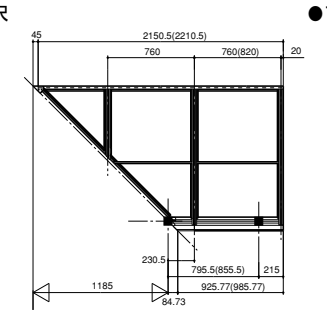
●2.0間×3尺



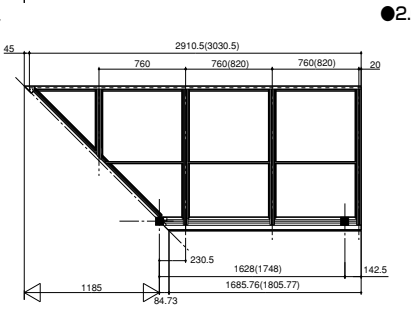
●2.5間×3尺



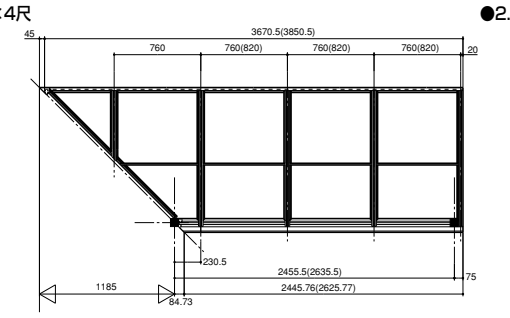
●1.0間×4尺



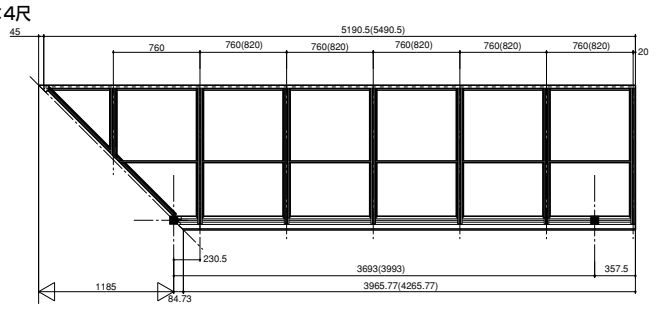
●1.5間×4尺



●2.0間×4尺

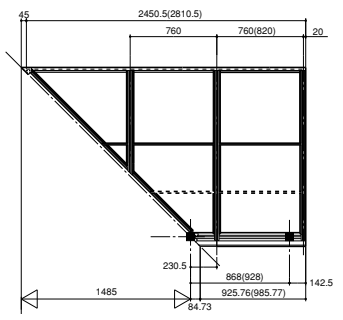


●2.5間×4尺

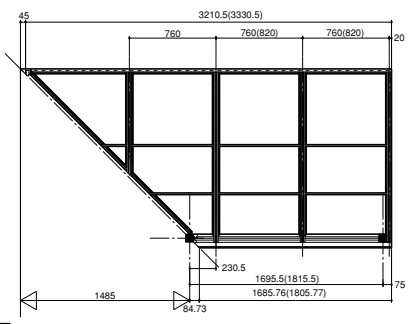


注1)（　）内は、関西間・九州四国間をベースに組み立てる場合を示します。
注2) 前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目には、必ず垂木を取り付けてください。
注3) 破線は1500形の場合の野縁位置を示します。

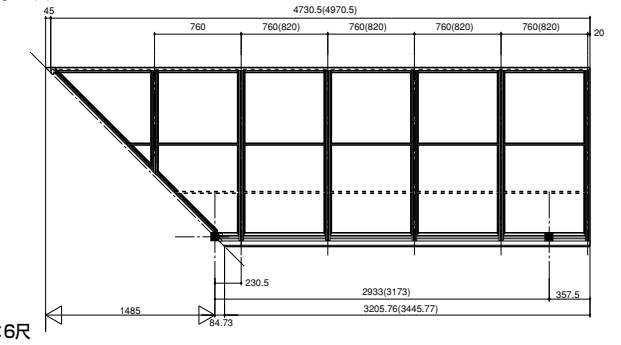
●1.5間×5尺



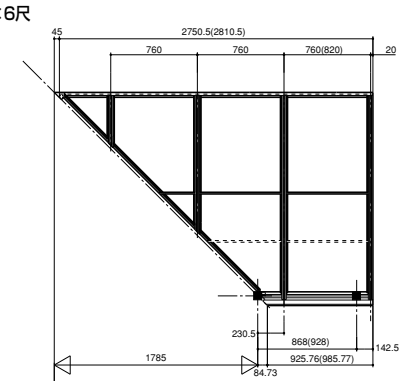
●2.0間×5尺



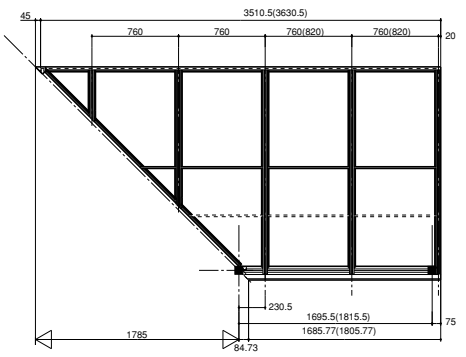
●2.5間×5尺



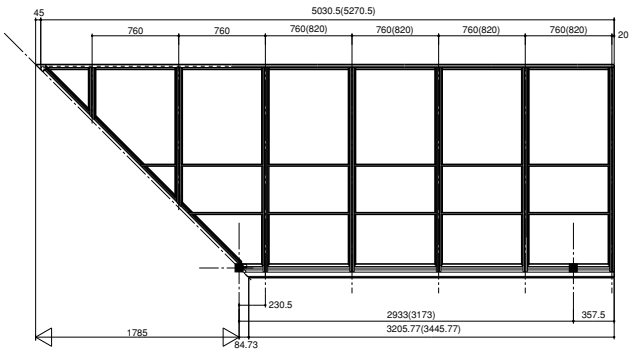
●1.5間×6尺



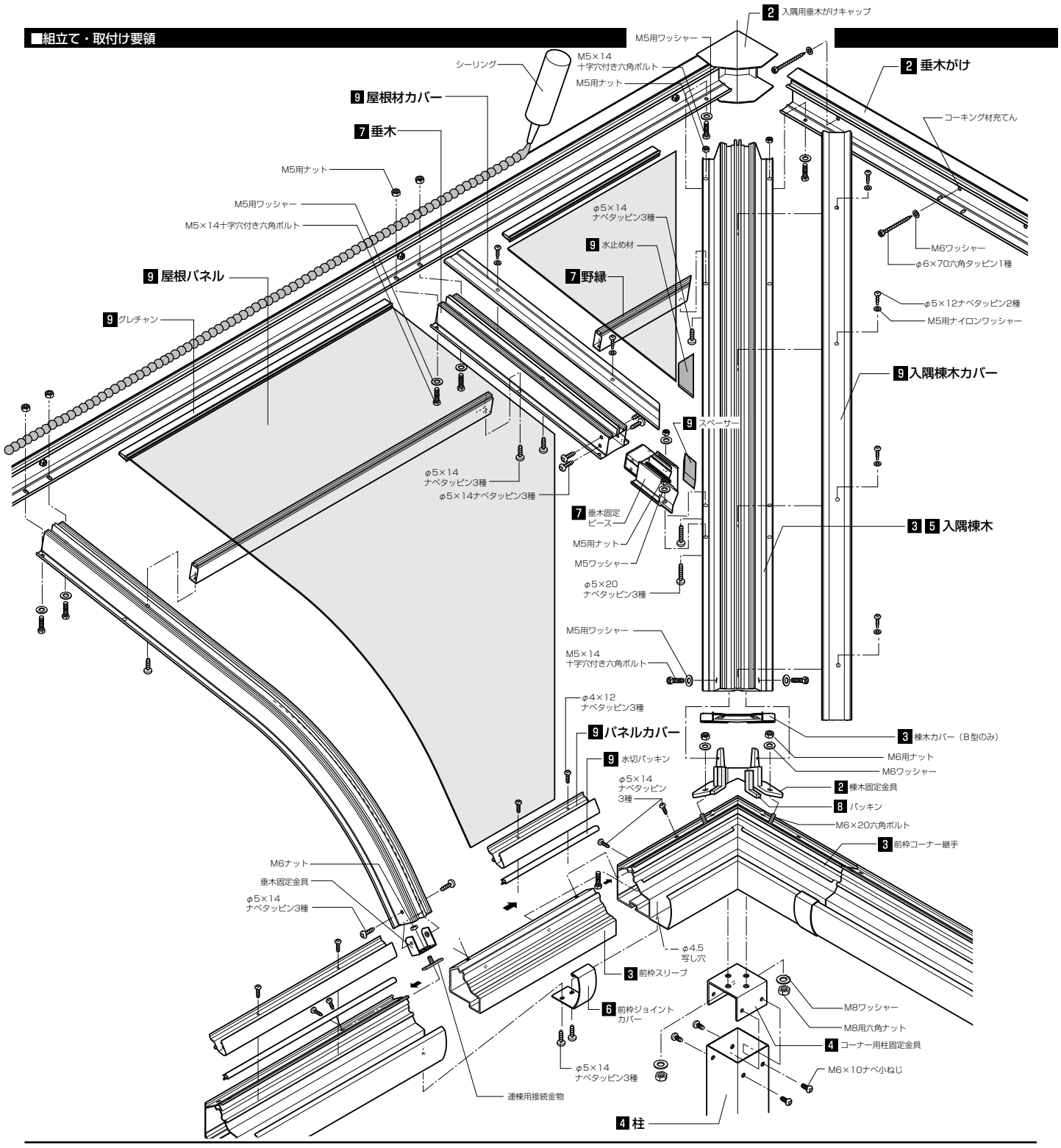
●2.0間×6尺



●2.5間×6尺



■組立て・取付け要領



1 柱位置の墨出し・基礎穴掘り

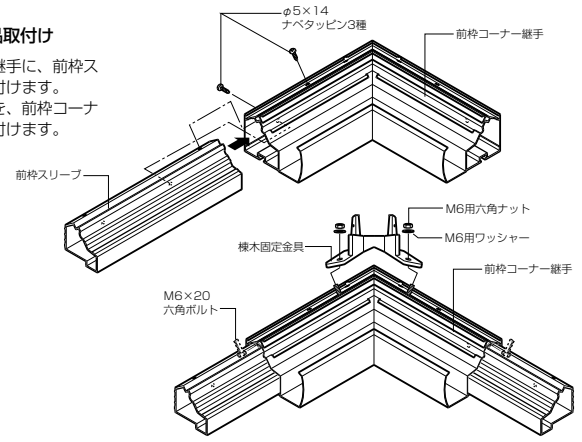
姿図より、柱埋め込み位置を出し、基礎穴を掘ってください。

2 垂木がけの取付け

①入隅用垂木がけキャップの下端を「垂木がけ取付け下端寸法ー2mm」の位置に合わせて仮固定し、それに合わせて、垂木がけを取り付けます。その際、必ず水準器で水平を出してください。
②躯体と垂木がけの透き間にシーリングしてください。
※垂木がけは必ず躯体の柱・間柱など構造材に取り付けてください。コーナー部は、特に確実に取り付けてください。

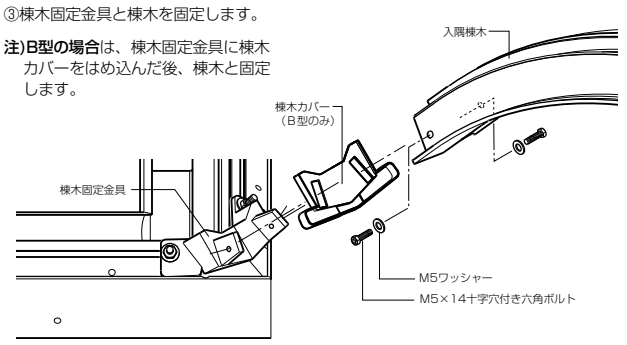
3 棟木への部品取付け

①前枠コーナー継手に、前枠スリーブを取り付けます。
②棟木固定金具を、前枠コーナー継手に取り付けます。



③棟木固定金具と棟木を固定します。

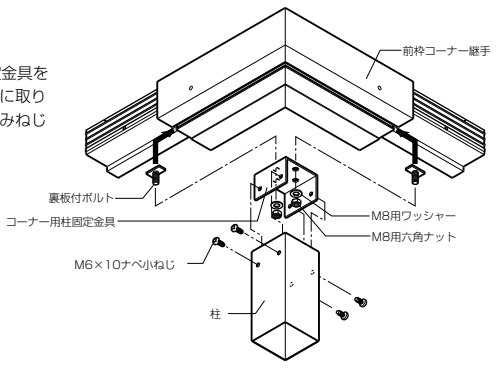
注)B型の場合は、棟木固定金具に棟木カバーをはめ込んだ後、棟木と固定します。



4 柱の取付け

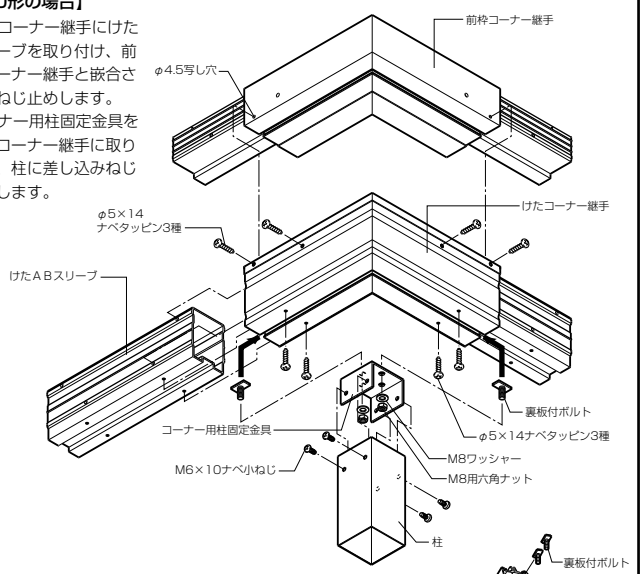
【600形の場合】

●コーナー用柱固定金具を前枠コーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。



【1500形の場合】

●けたコーナー継手にけたスリーブを取り付け、前枠コーナー継手と嵌合させてねじ止めします。
●コーナー用柱固定金具をけたコーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。



5 棟木と垂木がけの接続

●棟木を垂木がけに取り付けます。

6 前枠の取付け

【600形の場合】

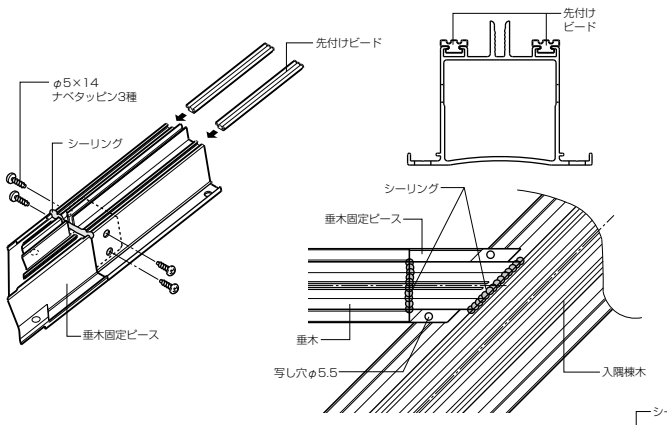
●前枠の端部に柱を取り付け、前枠コーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

【1500形の場合】

●けたの端部に柱を取り付け、けたコーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠を接続し、けたの穴に合わせて前枠に写し穴φ4.5をあけてねじ止めします。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

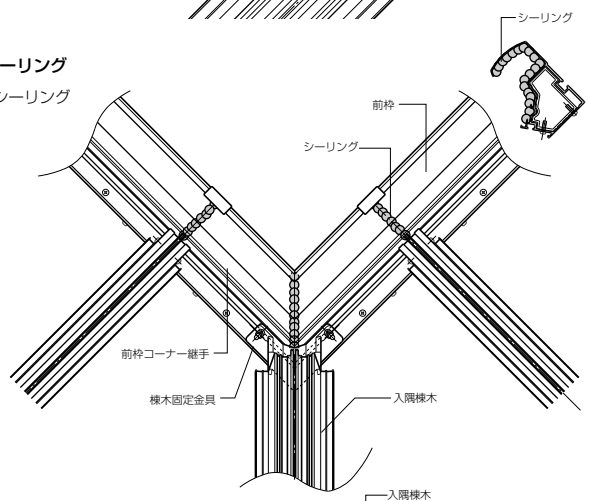
7 垂木・野縁の取付け

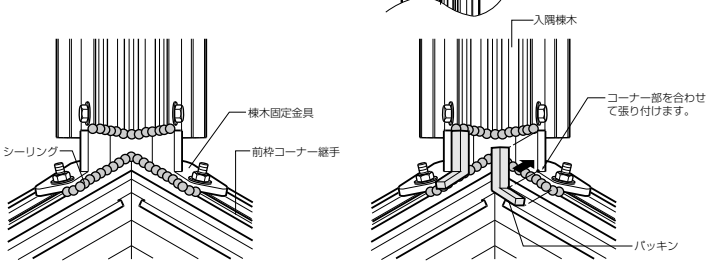
●先付けビードを抜き取った垂木を加工し、垂木固定ピースを取り付けます。
●垂木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●抜きとっておいた先付けビードをビードホールに差し込み、垂木固定ピース端末に合わせて、切断します。
●垂木固定ピースの穴に合わせて、棟木に写し穴φ5.5をあけて取り付けます。
●棟木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●野縁は、棟木にφ5.5の取付け穴をあけて取り付けます。



8 前枠雨樋部のシーリング

●図に示した個所をシーリングしてください。

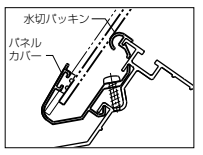


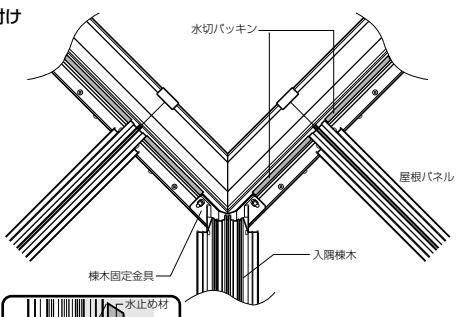


●棟木固定金具部のシーリングの後、パッキンを張り付けます。

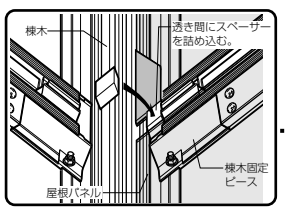
9 屋根パネル・棟木カバーの取付け

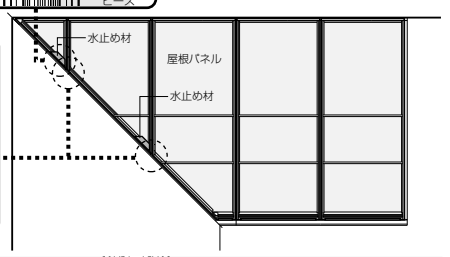
●前枠にパネルカバー・水切パッキンを取り付けます。(長い場合は、適当な長さに切断します。)



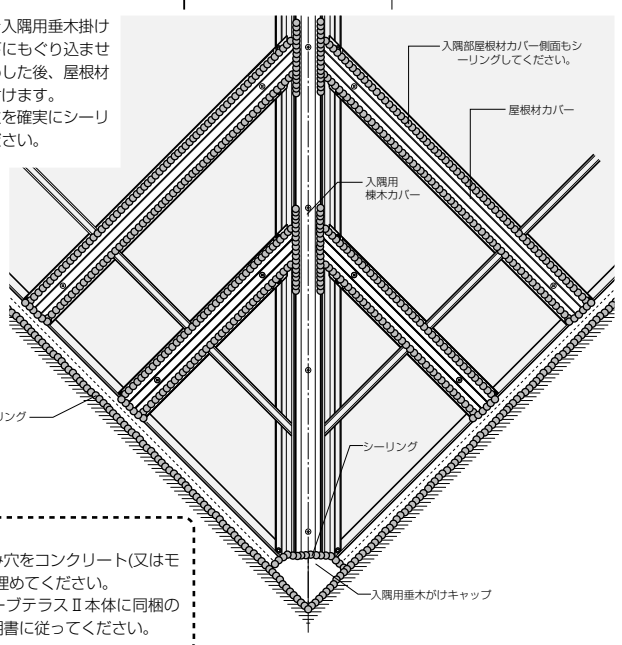


●グレチャンを屋根パネルに付け、垂木がけ及びパネルカバーに取り付けます。
●入隅部の屋根パネルの三角部に水止め材を張り付けます。
●入隅部の屋根パネル、棟木、垂木固定ピースの透き間にスペーサーを詰め込みます。

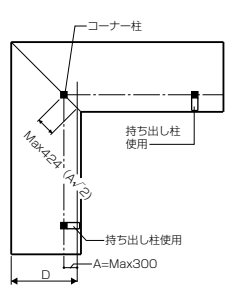
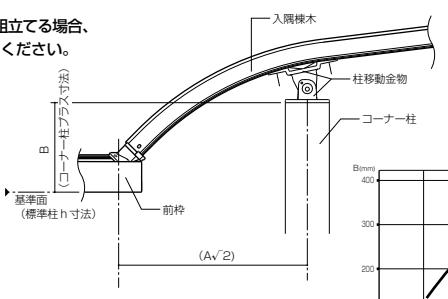
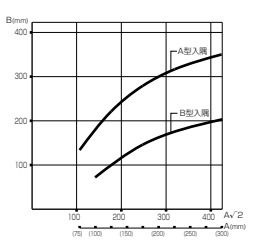
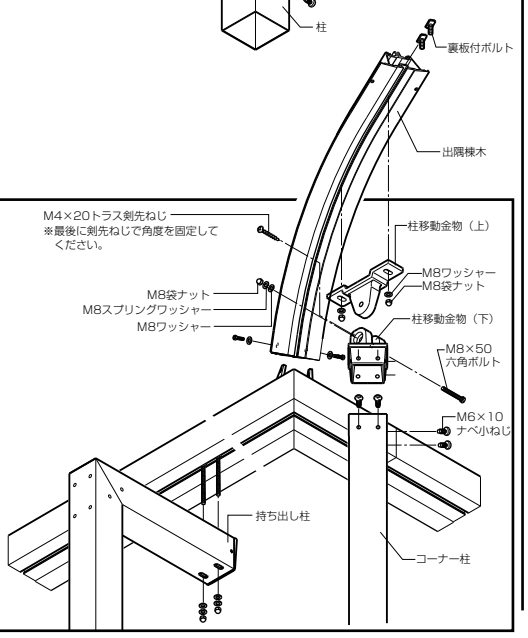




●棟木カバーを入隅用垂木掛けキャップの下にもぐり込ませて、ねじ止めした後、屋根材カバーを取付けます。
●右図指定部位を確実にシーリングしてください。



●柱基礎
●柱埋め込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
●詳細はカーブテラスⅡ本体に同梱の取付け説明書に従ってください。

■コーナー柱移動の場合

注)1500形及び間口2.5間ベースで組立てる場合、柱移動はできませんので、ご注意ください。